

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日  
平成 30 年 4 月 20 日

事務事業名		市交通安全母の会運営事業				事業区分		担当		
		政策体系上の位置付け				新規/継続		事務事業No. 030301000708		
		総合計画の施策名 0303 交通安全対策の推進				単独/補助		030301		
政策体系	政策名	03	安全安心な暮らしのまちづくり			主要事業		所属課 生活環境課		
	施策名	03	交通安全対策の推進			市長マニフェスト				
	手段名	01	①交通安全意識の向上			未来PJ事業		グループ 市民活動・交通安全G		
						合併建設計画事業				
		財務会計上の位置付け				事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	02	01	11	00	00	単年度繰返し (平成18年度~)			
法令根拠							← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
手 段	①事務事業の概要(事務事業の全体像) 【事務事業の内容】 市交通安全母の会は、桜川市の市民が安全で安心に過ごせるまちづくりのため、「交通安全は家庭から」を合言葉に、母親の立場から交通安全活動をボランティアとして展開する。 ・交通安全街頭キャンペーン、立哨等の各種交通安全啓発事業への参加 ・幼稚園・保育所、小中学校交通安全教室への参加 ・高齢者世帯訪問 ・交通安全七夕飾り ・茨城県交通安全母の会事業の協力 【事業費の内訳】 交通安全協議会からの助成金で運営
	②担当が行う業務の内容・やり方・手順 ・事務局業務全般(通知発送、会議資料作成、役員会補助、啓発品購入、視察研修事務、3役連絡調整、県母の会報告) ・交通安全教室での子供への指導の助言 ・街頭キャンペーンの実施 ・交通安全七夕飾り準備 ・高齢者世帯訪問準備 ・茨城県交通安全母の会事業の協力  資金管理は母の会会計

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・事務局業務全般(会計を除く) ・交通安全教室での子供への指導の助言 ・街頭キャンペーンの実施 ・茨城県交通安全母の会事業の協力	交通安全活動回数	回	38.00	38.00	39.00	39.00	39.00
	役員会、研修会等実施回数	回	6.00	5.00	7.00	7.00	7.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
市民 母の会会員	人口	人	42,000.00	41,278.00	41,008.00	40,738.00	40,467.00
	会員数	人	254.00	254.00	250.00	250.00	250.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
市民に交通安全思想の高揚を図る。 母親の立場から家族に交通安全思想の高揚を図る。	啓発数	件	2,400.00	2,400.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00
	交通事故件数※1/1~12/31	件	134.00	143.00	130.00	120.00	110.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費内訳	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	31年度(計画)	32年度(計画)	期間限定総投入量
事業費	国庫支出金	0	0	0			0
	県支出金	0	0	0			0
	地方債	0	0	0			0
	使用料・手数料	0	0	0			0
	その他	0	0	0			0
	一般財源	0	0	0			0
	事業費計(A)	0	0	0			0
人件費	正規職員従事人数	3.00人	3.00人	3.00人			
	述べ業務時間	492.30	295.20	300.00			
	人件費計(B)	1,440	863	878			
トータルコスト(A)+(B)		1,440	863	878			

29年度事業費 実績(千円)

30年度事業費 予算(千円)

事業費の内訳							
		合計	0				合計

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	市交通安全母の会運営事業	事務事業No.	30301000708	所属課	生活環境課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 経済の高度成長に伴い、昭和30年代後半から自動車の交通量は急速に増大したが、交通事故特に、子供や高齢者などの弱者の交通事故が急激に増加した。このため「子供やお年寄りを交通事故から守ろう」とする自然発生的な運動として、各地の母親の間で団体設立が行われ、そのバックアップを警察、行政で行うようになった。市町村合併後、H17.12.13より市母の会の組織設立。社団法人全国交通安全母の会連合会がH23.3.31に解散。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? ・支部活動が合併前の体制が根強く残っているため、活動内容に若干の温度差が見られる。 ・支部を廃止して学校区とつながりを良くし、市内同じ交通安全啓発品を配りたいと言う声が会員から要望があった。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容
現状維持

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
目的妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市民への交通安全思想の高揚を家庭から図っているため政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 母親の立場から市民(家族)の交通安全思想を高揚させる事がこの事業の目的であるので妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 市母の会→支部→学校区・分会と連絡調整が多く、また学校区・分会のごとの活動が主となっているため、支部間の情報交換や一体的な活動ができれば今以上の活動が可能と思われる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 母親の立場からの交通安全思想を高揚させる機会がなくなり、また交通安全の連絡調整も必要なことから事務事業を廃止できない。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似する事業はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 現在は各種事業を行うためには最低限必要な予算(交通対策協議会から助成)である。母の会自体で活動が可能になれば、職員の間外は削減できるが他市町村も市で事務局を運営しているのが現状であり、削減の余地がない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 家庭を通じて市民に交通安全思想の高揚を図っているため、偏っておらず公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果																								
コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>